

大阪北部地震及び台風 21 号における被害状況等について

本年 6 月 18 日午前 7 時 58 分に発生し、枚方市域で震度 6 弱を観測した大阪北部地震及び、9 月 4 日午後から夕方にかけて発生した台風 21 号による本院への影響について、その被害状況や、対応状況を取りまとめる事により、今後の地震や災害への備えの向上等に繋げる事を目的として報告するものです。

1. 大阪北部地震の影響について

(1) 発災直後の対応

地震発生時には既に大半の職員が出勤していたことから、病棟患者や施設の被害状況等の確認を速やかに行い、即座に病院内における対策会議を設置。

(2) 対策会議の実施

a. 発災直後（6月18日(月) AM 8:30)

入院患者や外来患者に被害が無かったこと、また、病院施設への被害が無かったことから、通常どおりの診療を実施することを決定。

b. 詳細確認後（6月18日(月) AM10:30)

各部署が詳細な状況報告を行うとともに、病院として、改めて救急受入態勢の強化を図ることを決定。また、今後の余震に備え、夜間等における配備体制等の再確認を行った。

c. 発災翌日（6月19日(火) AM 8:30)

前日の地震による患者数の確認や、本日以降も通常どおりの診療を実施すること等を確認した。

(3) 大阪北部地震の影響による患者数

外来患者 9 名（救急搬送 5 名、うち 2 名が入院）

2. 台風 21 号の影響について

(1) 対策会議の実施

a. 前日の対応（9月3日(月) PM 6:00）

台風 21 号の上陸が予想されることから、翌日の職員の勤務体制を確認するとともに、施設関連の再度の点検を行うことを決定。

b. 当日の朝（9月4日(火) AM 8:30）

当日の職員の出勤状況を確認のうえ、通常どおり診療を実施することを確認。また、前日に引き続き、施設関連の再度の点検を行うことを決定。

c. 台風通過中（9月4日(火) PM 3:30）

被害状況等、各部署による状況報告を行い、今後の対応及び課題等を共有。

(2) 台風 21 号の影響による患者数

外来患者 2 名（救急搬送 2 名、うち 1 名が入院）

(裏面へつづく)

(3) 台風 21 号の影響による被害の状況

- ・ 断続的停電（14 時 10 分より断続的停電が発生後、自家発電装置に自動切換）
- ・ 屋上及び外周ルーバーフェンス欠損
- ・ 救急搬送口付近扉破損
- ・ 正面玄関通路シェルターにおけるルーフカバー及び柱カバー欠損

3. 職員の体制及び意識向上について

今回の地震や台風の影響も踏まえ、以下の取り組みを進めていく。

(1) 設備面について

大規模な災害時にも機能できるよう、免震構造や災害用設備について、今後も引き続き定期的な設備点検を実施する。

(2) 職員の体制及び意識向上について

患者の生命と安全を確保するとともに、地域の医療救急活動の拠点である「災害医療センター」としての責務を果たすべく、職員一人ひとりが迅速かつ適切に行動できるよう、災害医療訓練等を充実させ、災害時の体制整備や職員の意識の向上を図る。

(3) その他

現に策定している「市立ひらかた病院災害対応マニュアル」について、今回の災害による本院の被害状況等も踏まえた、より実態に即した内容となるよう改訂する。

以 上